

三重県名張市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	48,460,170	22,461,000	70,921,170	81.35%	三重県名張市内の未整備森林の整備を推進
譲与額（円）	65,246,000	21,936,000	87,182,000		

■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理制度に基づく取組	17,369,000	17,369,000	森林経営管理制度に基づき、名張市布生地区で境界明確化事業、名張市青蓮寺地区で意向調査を実施。
人材育成	専門員の雇用	1,950,000	1,950,000	地域林政アドバイザーを雇用。
森林整備	意向調査の準備作業	330,000	330,000	林地台帳に基づき、森林クラウドを更新。
森林整備	森林作業道整備事業	2,200,000	2,200,000	市内で森林整備及び木材の搬出を行うための森林作業道を整備するための費用の補助を実施。
森林整備	私有林整備	612,000	612,000	間伐実施に対し、1本200円の補助を実施。 また、三重県の造林補助事業に係る間伐に対し、事業費の15%以内の補助を実施。
基金積立		16,271,000	16,271,000	名張市森林環境譲与税基金積立金
合計		38,732,000	38,732,000	

■今後の実施計画

①森林経営管理制度に基づく意向調査・境界明確化・森林整備の実施

森林経営管理制度の推進を図るため、名張市経営管理基本計画に基づき、各地域にて意向調査・境界明確化・森林整備事業を実施。

②私有林整備補助金による森林整備の推進

私有林整備（間伐）に係る経費、1本200円の補助金を交付することで、私有林の整備を推進。